禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B78

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
１級 サッシ施工 学科試験問題
（ビル用サッシ施工作業）

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   （1） 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   （2） 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   （3） 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   （4） 試験開始の合図で始めてください。
   （5） 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   （6） 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   （7） 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   （8） 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   （9） 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　サッシ・ドアの下枠に使用される鋼板の板厚は、一般に、2.3mmである。

2　サッシ工事の工程表は、関連のある他工事の工程を考慮し、現場工程に支障のないように配慮して作成するとよい。

3　サッシ開口部寸法のチェックに必要な墨は、陸墨、心墨及び出入り墨である。

4　サッシ工事におけるフラッシング材は、躯体との層間ふさぎのための部材のことである。

5　サッシのPC(プレキャストコンクリート)打込み工法は、後付け工法に比べて、一般に、サッシ枠まわりからの漏水事故は少ない。

6　日本産業規格(JIS)によれば、組やすりの目の種類は、中目、細目、油目及び荒目の4種類である。

7　ノンワーキングジョイントの場合、RC造の湿式納まりで取付けしたサッシと躯体の取合いは、目地シールで目地底にバックアップ材を挿入した2面接着がよい。

8　被覆アーク溶接棒の被覆剤は、アーク熱の作用により分解したガスがアーク周辺を覆い、またスラグを形成して溶接金属の表面を覆って、大気中の酸素や窒素の溶接金属中への侵入を防ぐ役割がある。

9　長尺部材の保管は、パッキン材を壁等の間に挿入し、75°程度の立て掛け角度で仮置きするとよい。

10　PC(プレキャストコンクリート)打込み工法におけるサッシの養生は、後付け工法の養生と同じでよい。

11　クレーン等安全規則によれば、クレーンの定格荷重とは、負荷することのできる最大荷重をいう。

12　日本産業規格(JIS)によれば、複層ガラスの乾燥気体の露点は、－35°C以上であってはならない。

13　日本産業規格(JIS)によれば、サッシとは、あらかじめ枠と戸が製作・調整され、現場取付けに際し、一つの構成材として、扱うことができるものをいう。

14　日本産業規格(JIS)によれば、サッシにおけるスイングとは、主に枠の面内を戸が移動する開閉形式をいう。

15　サッシの気密性は、断熱性及び遮音性に影響する。

［A群（真偽法）］

16　日本産業規格(JIS)によれば、サッシ幅及び高さが2000mm未満のサッシの寸法許容差は、±3.0mmである。

17　日本産業規格(JIS)のドアセットによれば、適用範囲において、スイング及びスライディングのドアセットについて規定しているが、回転ドアは除かれている。

18　湿潤状態において、アルミニウムは、銅、鉄、鉛などと接触しても腐食するおそれはない。

19　錠前におけるデッドボルトは、扉が風などであおられないための仮締りのことである。

20　RC造において、鉄筋は、主に圧縮力を負担している。

21　RC造において、かぶり厚さとは、鉄筋の中心とそれらを覆うコンクリートの内側までの距離をいう。

22　建築設計図書には、見積要項書も含まれる。

23　日本産業規格(JIS)によれば、次図は、出入口一般を表す平面表示記号である。



24　建築基準法関係法令によれば、建築物の排煙口は、自動開閉式としなければならない。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、つり上げ荷重が1トン以上のクレーンを使用して玉掛け作業を行う作業者は、当該業務に関する特別教育を修了した者でなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　施工要領書に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　建設工事における、サッシの施工を円滑に推進するためのものである。

ロ　記載内容は、設計図書よりも優先する。

ハ　記載事項に変更が生じた場合は、総合工事業者と協議し、監理者の承諾を得て施工する。

ニ　作業の流れがわかるように作業手順を図示する。

2　付属金物とその機能の組合せとして、適切でないものはどれか。

	付属金物	機能
イ	ステーダンパー ・・・・	排煙窓の開放
ロ	バランサー ・・・・・・	外れ止め
ハ	アーム式ストッパー ・・	破損防止
ニ	オートヒンジ ・・・・・	自動閉鎖

3　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、アーク溶接装置のアーク溶接電源の環境条件として、空気中の相対湿度は、40℃で(①)%以下、20℃で(②)%以下としている。

	①	②
イ	10・・・	30
ロ	20・・・	50
ハ	50・・・	90
ニ	50・・	100

4　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、アーク溶接装置の溶接棒ホルダについては、どのような取付け状態においても、溶接棒を保持して、使い残りが(　　)mmまで使用できるとしている。

イ　10

ロ　30

ハ　50

ニ　70

5　トルシア型ハイテンションボルトの締付けに使用される工具として、適切なものはどれか。

イ　電動ドライバー

ロ　シャーレンチ

ハ　インパクトレンチ

ニ　ハンマードリル

［B群（多肢択一法）］

6　サッシ施工において、一般に、外径 7mm を使用している溶接用ケーブルの公称断面積として、適切なものはどれか。

イ　22mm²

ロ　60mm²

ハ　100mm²

ニ　150mm²

7　シーリング材に要求される性能として、適切でないものはどれか。

イ　水密性や気密性を付与できること。

ロ　剥離、破断及び変色を生じないこと。

ハ　浸透性の材料であること。

ニ　目地に生じるムーブメントによく追従すること。

8　異種シーリング材の打継ぎに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　打継ぎは、目地の交差部分で行う。

ロ　打継ぎ面は、溶剤洗浄を行うか又はカットして新しい面を出す。

ハ　後打ちシーリング材のプライマーを打継ぎ面に塗布する。

ニ　先打ちシーリング材は、十分に硬化していること。

9　アルミニウム合金製サッシの保管場所の選定要件として、適切でないものはどれか。

イ　通気が良く、湿潤状態でないこと。

ロ　他作業によって、移動されてしまうおそれがないこと。

ハ　揚重リフトのすぐそばで、運搬に便利であること。

ニ　小運搬、配置経路に障害がないこと。

10　サッシ工事の養生に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　サッシ取付け作業のために養生の一部を剥がした場合は、必ず復旧する。

ロ　コンクリート及びモルタルが製品に付着した場合は、速やかに汚れを除去するよう現場監督員に報告する。

ハ　建具の開口部を資材の運搬口とする場合は、建具部分を保護材で養生する。

ニ　アルミニウム合金製品に酸性物質が付着しても腐食することはない。

11　サッシ取付け時に使用する測定用具の説明として、適切でないものはどれか。

イ　ティルティングレベルは、方向転換のたびに気泡を合致させる必要がある。

ロ　トランシットは、高度角を測定できるが、水平角は測定できない。

ハ　下げ振りの垂球をたらす糸には、一般に、綾織糸が使用される。

ニ　水糸には、ナイロン糸が多く使用される。

［B群（多肢択一法）］

12　サッシのシーリング工事に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　バックアップ材は、3面接着を防止し、適切な充てん深さを確保するために使用する。

ロ　マスキングテープは、プライマー塗布前に貼り付ける。

ハ　プライマーの塗布は、シーリング1日の作業量の範囲内とする。

ニ　シーリング材の打継ぎにおいて、先打ちシールがシリコーン系の場合は、後打ちシールを変成シリコーン系とする。

13　次のうち、すべり出しサッシに取り付ける付属金物でないものはどれか。

イ　アーム

ロ　ハンドル

ハ　ピボットヒンジ

ニ　フロアーヒンジ

14　サッシの用語とその定義の組合せとして、適切でないものはどれか。

用語	定義
イ　戸	サッシの可動部分で、扉、障子などの総称
ロ　召合せかまち	戸と戸が突き合う状態になる部分に用いられているかまち
ハ　枠	戸などを取り付ける開口壁材に接するもの
ニ　中桟	戸の面内で、ガラスなどを仕切る部材

15　サッシの中骨の説明として、適切なものはどれか。

イ　FIX部の内にあって、その片端又は両端に接しないガラスを仕切る部材で、召合せ中骨及び枠付け中骨を除く。

ロ　窓を横方向につなげる場合の仕切るたて部材をいう。

ハ　引違い・片引き、両開きなどにおいて、閉鎖時に戸が重なり合う部分に用いられている戸のたて部材をいう。

ニ　4枚建て引違い、引分けなどで、閉鎖時に戸と戸が相接する部位に用いられる戸のたて部材をいう。

16　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、ドアセットの水密性能は、所定の散水量のもとで、室内側に漏水を生じない限界の圧力差の(　　)で示す。

イ　周期

ロ　下限値

ハ　上限値

ニ　中央値

［B群（多肢択一法）］

17　ドアの遮音性を発揮できない付属金物はどれか。

イ　押板
ロ　グレモンハンドル
ハ　レバーハンドル
ニ　握り玉

18　アルミニウムの比重として、適切なものはどれか。

イ　1.5
ロ　2.7
ハ　7.4
ニ　7.8

19　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

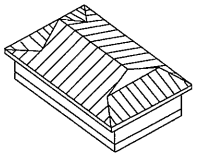
錠前において、フロント面からノブ又はシリンダーの中心までの長さは、(　　)という名称で呼ばれている。

イ　ストライク
ロ　バックセット
ハ　スペーシング
ニ　サムターン

20　S造の説明として、適切なものはどれか。

イ　組積式構造である。
ロ　架構式構造(ラーメン構造)である。
ハ　枠組壁工法(ツーバイフォー構法)である。
ニ　一体式構造である。

21　次図の屋根形状の名称として、適切なものはどれか。



イ　方形
ロ　寄棟
ハ　入母屋
ニ　切妻

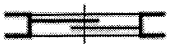
22　建築設計図面に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　平面図から、建具の種類、建具の連窓状態、建具の幅寸法、取付け場所を知ることができる。
ロ　立面図から、外部に面した建具とそれに関連した意匠を知ることができる。
ハ　展開図から、建築物の平面形と寸法・方位、隣地境界線までの距離を知ることができる。
ニ　矩計(かなばかり)図から、建築物の軒高、天井高、開口部、床などの高さの関係を知ることができる。

［B群（多肢択一法）］

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次の平面表示記号が表すものはどれか。

イ　引違い窓

ロ　引違い戸　

ハ　両開きとびら

ニ　片開き窓

24　建築基準法関係法令によれば、非常用の進入口の構造に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　進入口の間隔は、40m以下であること。

ロ　進入口の大きさは、幅60cm以上、高さ1m以上であること。

ハ　進入口は、外部から開放し、又は破壊して室内に進入できる構造とすること。

ニ　進入口には、奥行1m以上、長さ4m以上のバルコニーを設けること。

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さが(　　)m以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆い等を設けなければならない。

イ　1.5

ロ　1.8

ハ　2.0

ニ　3.0